

ときめき人

Tokimeki bito

夢と希望を持って成長してほしい



「とめ☆スマイルキッチン」の皆さん。後列左から2番目が理事長の鈴木均さん

スマイルむさしHP

「食事を提供することが目的ではありません。違う世代との交流や学習支援などを通じた地域づくりが目標」と話すのは、スマイルむさし理事長の鈴木さん。スマイルむさしは、もっと登米市をよくしたい、何かしたいという思いを抱く市内の保健・医療・福祉に関わっている人や地域のボランティアが集まり、生活困窮や就労を支援している。

「生まれた環境で将来が左右されてしまう状況を何とかしたい」と話す鈴木さんは、子どもたちの居場所づくりができないかを模索。「こども食堂」として食事を提供することで孤独の解消や学習支援、食育などのさまざまな側面を持った地域交流の場をつくることを決意。2018年10月、子ども食堂「とめ☆スマイルキッチン」がオープンした。

しかし、思うように利用者が集まらない。スタッフたちは、子ども食堂を始めた理由や取り組みの内容について、地域の小・中学校や住民へ説明を重ねた。誰でも利用できる食堂であることを伝えるため試行錯誤を繰り返すうち、食材の提供やボランティアで関わる人が増えるなど地域の理解も深まった。徐々に利用者も増え始めてきたその矢先、新型コロナが拡大。子ども食堂の扉を閉めざるをえなかった。

休止から2年がたった昨年12月。子ども食堂は規模を縮めて再開。「周りの目を気にして助けを求められない人もいます。困ったときに、遠慮しないで声を出そうができるような環境づくりを進めたい」。子どもたちの未来を守る活動は続く。

編集後記

▼バランスのとれた栄養・食生活は、心身の健康の重要な基礎となります。今号で紹介した6レシビ調理動画を参考に調理と食事を楽しみたいと思います。健康管理のバロメーターとして、血圧と脈拍計測を続け、QOL(生活の質)向上と脾経・胃経の消化力を高めたいです。(高橋)

▼生まれた環境によって、将来の選択肢が狭められるという現実を知りました。次世代でもまた同じことが繰り返されることも。その連鎖を断ち切るため、地域の子どもたち誰もが参加できることも食堂の取り組みが再開しました。必要とする人に必要な支援が届く事を願います。(佐々木)

▼広報とめ「To.Me」が10年連続で全国の広報コンクールへ推薦されました。これは毎月の情報提供や取材など、多くの皆さんの協力があるおかげです。「To.Me」の主役は市民の皆さんひとりひとり。これから皆さんと一緒に市の魅力を届けていきます。(三浦)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

